

平成24年度専門技術者講習・試験 新規の受験申請者数は1,820名

内発協はこのほど、内発協が実施する平成24年度の専門技術者講習・試験の新規受験の申請者数を集計した。

それによると、自家用発電設備専門技術者の講習・試験の受験申請者数は、昨年度（1,030名）に比べ、約10%増加し、1,147名となっている。一方、可搬形発電設備専門技術者の講習・試験の受験申請者数については、昨年度（824名）に比べ、大きく減少し、673名となっている。ただし、申請書の書類審査が全数完了していないことから、最終的な受験申請者数は多少変動するものとみられる。

新規の受験の申請以外では、科目別受験（※1）が33名、業務区分追加受験（※2）が27名、資格再付与受講（※3）が51名と、それぞれ昨年度並みの申請状況となっている。

専門技術者資格を取得するための平成24年度の講習・試験は、9月上旬から11月上旬にかけて、自家用発電設備専門技術者の講習・試験は全国10会場（札幌、仙台、東京、富山、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇）で計12回、可搬形発電設備専門技術者の講習・試験については同10会場で計10回実施される。また、専門技術者資格保有者が5年毎に受講する「更新講習」も、同様の開催要領に基づき、実施される。

受験結果については、講習・試験終了後に、内発協で開催される自家用発電設備専門技術者審査委員会で合否判定が行われ、この判定結果に基づき、内発協会長による合否決定の承認が行われる。年内にも受験者には合否結果が通知される予定。

- ※1 科目別受験 : 昨年度受験科目の一部が合格点に達しなかったことにより合格できなかった者を対象に、その科目のみを再度受け直す受験をいう。
- ※2 業務区分追加受験 : 既に専門技術者の資格を保有している者を対象に、未取得の業務区分を新たに資格に追加（例：M→KM）しようとする受験をいう。
- ※3 資格再付与受講 : 過去3年以内にやむを得ない事情により専門技術者資格を喪失した者を対象に、新規受験における講習を全て受けることにより、資格を再度付与する受講をいう。